



主権者教育の改革を考える(7)

日本版「ボイテルスバッハ・コンセンサス」考

本連続セミナーでは、16歳から選挙権を付与し、学校内で現実社会の問題を扱う制度と文化が定着したオーストリアの学校教育、とくに「歴史・社会・政治科」の実践に注目し、日本の主権者教育の実質化と社会科教育の再政治化に向けた戦略を考えています。第7回は連続セミナーの最終回として、日本版「ボイテルスバッハ・コンセンサス」の可能性について意見交換します。

■ 日時

2021 10.10(日)

14:00-16:00

オンライン会議Zoomを使用

主催:

○ 科研費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)))
「オーストリア政治教育の挑戦-教室空間で政治問題をいかに教えるか」
(代表: 草原和博)

○ 科研費助成事業(基盤研究(A)) 「学校シティズンシップ教育の社会的教育効果の国際比較調査研究」(代表: 池野範男)

○ 公益財団法人 日本生命財団研究助成 「定時制高校における主権者教育の構造改革のためのデザイン研究」(代表: 草原和博)

共催: 広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)

QRコードからもお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡します



【お問い合わせ先】

Email: evri-info@hiroshima-u.ac.jp

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/18814>

■ スケジュール

- はじめに 草原和博(広島大学)
- セミナーの振り返り
- オーストリアの教育実践が示唆すること -
池野範男(日本体育大学)
- 話題提供
(1) 高校教師は政治的中立性をどのように受けとめているか
- 西日本の調査結果から -
吉田純太郎(広島大学・院)
(2) 中学生の社会参加を促進・抑制している教育課程とはなにか
- 3県15校の調査結果から -
小栗優貴(広島大学・院)
(3) 社会参加を促進する教育課程をいかにしてつくり出すか
- ある定時制高校の実践から -
北川弘紀(兵庫県立篠山鳳鳴高等学校)
古塚明日人(兵庫県立西宮香風高等学校)
望月翔平(兵庫県立西宮香風高等学校)
小栗優貴(広島大学・院)
- 指定討論
唐木清志(筑波大学), 田中伸(岐阜大学)
- 意見交換
- 日本版「ボイテルスバッハ・コンセンサス」の可能性 -
- おわりに 草原和博(広島大学)